

きのくに青雲高等学校（定時制）

実施日時	令和2年9月30日（水）、10月26日（木）
参加者	生徒230名、教職員40名、計270名
実施内容	避難訓練、防災スクール、AEDを用いた心肺蘇生法実習

ねらい

1. 近い将来、発生が危惧される南海トラフ地震をはじめ自然災害に備え防災意識を高め、スムーズに行動できるよう避難経路や避難行動を確認する。
2. 地域防災の担い手として社会貢献できる生徒の育成を目的とする。

主なプログラム

1. 避難訓練。
2. 「和歌山県防災ナビ」等を使った防災教育。
3. AEDを用いた心肺蘇生法実習。

概要

1. 地震発生、火災発生による避難を想定した訓練。
2. 「和歌山県防災ナビ」等を使って学習した。
3. グループに分かれ役割分担しAEDを用いた心肺蘇生法実習。

参加者感想文

- 地震が起こったときの避難経路が確認できた。
- 津波の怖さがわかった。

- AEDの使い方が分かってよかった。

成果と課題

【成果】

- ① 避難訓練や「和歌山県防災ナビ」等を使った防災教育をすることによって、過去に起きた地震災害・津波の様子を学ぶことができた。また、今後の自然災害対策として大いに役立った。
- ② AEDを用いた心肺蘇生法実習で傷病者発見から心肺蘇生法を行う一連の流れを学んだ。

【課題】

- (ア) 訓練ということもあり生徒の中には緊迫感のない生徒もいた。実際に地震が起こった時の行動についてより緊張感を持った取り組みが必要。
- (イ) 障害のある生徒等への対応に、人員の少なさを感じた。